

平成28年度

平成29年 1月10日 1月号 (第494号)

学校だより



横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

おこやかスマイル すすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子



## 「節目で伸びる人」

校長 三橋 国雄

2017年（平成29年）、希望にあふれる新しい年が始まりました。

今年の初日の出は、天気にも恵まれとても綺麗に輝いて見えました。元旦の朝は、不思議に「今年こそは！」という厳肅な気持ちになります。皆様もご家族そろって穏やかに新しい年を迎えられたことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

冬休み、それぞれのご家庭ではどのように過ごされたでしょうか。年末・年始、年をまたぐ休みとして冬休み前の朝会で、子どもたちに年末・年始の過ごし方について次のような話をしました。「家族の一員としての手伝いのこと」「来客を迎えたときのあいさつなどの礼儀のこと」「自分が客となり訪問するときのあいさつなどの礼儀のこと」などです。自分なりにマナーのことを考えて、経験してほしいと話しました。

子どもたちはどんな経験をしたでしょうか。

正月は、新しい年を迎えてどのような年にしていくか、一人ひとりがしっかり目標を立てる良い機会だと思います。新年を迎えて、「今年こそ！」と心新たに目標を立てていると嬉しいです。

学校は、年度単位で教育課程を考えるので、3月までがひとつの区切りとなります。しかし、子どもたちにとっては次のステージへの心構えをしっかりとつくる期間です。12月までの自分、今日からの自分、そして、4月からの自分、それぞれの姿を明確に意識することができるでしょうか。成長するということは、そういうことができるということです。「昨日の自分の姿を覚えているか？今日の自分がどうなっているか分かるか？明日の自分はどうすべきなのか？」毎日、それを考えていけば、自分の姿を見失うことはありません。私の経験から、自分を確かに見つめることができる子は、日々成長していることが手応えとして実感できます。学習活動も然り、行動態様ももちろん、学習集団のリーダーとしてだれもが認める存在になります。一目置かれるという表現が合うと思います。子ども集団とはいえ、そういう雰囲気をもっている子は頼もしいものです。

「竹の節目」について書いてある新聞記事を読んだことがあります

竹はとても成長が早い植物で、節目ごとに伸びていきます。では、この節目は何のためにあるのか、それは、節目があれば「しなる」ことができるからです。ただ、伸びていくだけでは力が加わると折れてしまいます。人而言えば、ねばり強く、心が柔軟であり自分で立ち直る力をもっている、ということなのです。

前に述べた自分を確かに見つめられる子は、こういう節目をもっているのでしょう。だから、しなやかに学校生活を送ることができるのでしょう。4月はもうすぐです。自分を振り返る、先の目標をもつ、そういうことを考える時間を過ごしてほしいと強く願っています。

教職員もこの1年をしっかりと振り返り、次年度に向けての計画を立てていきます。そして子ども達が「安全」で「安心」して学習や生活が出来る学校づくりを行います。子ども達が自己の目標に自分のペースで一步步進んでいけるよう、学校・家庭・地域がしっかりと連携をとり支援していくことができればと思います。本年もよろしくお願いいたします。

